



平成26年11月14日

各 位

会 社 名 ハイブリッド・サービス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉田 弘明
(コード番号) 2743 JASDAQ
問 合 せ 先
役職・氏名 取締役管理本部長 本瀬 建
電 話 03-6731-3414

貸倒引当金の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループにおいて貸倒引当金の計上及び平成26年8月11日に公表した平成26年12月期通期（平成26年1月1日～平成26年12月31日）の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 貸倒引当金の計上について

当社グループにおいて新規事業の一環で資金投下しておりました前渡金及び長期貸付金の回収可能性について、改めて精査し直し、保守的に判断した結果、回収不能に陥る可能性があることから第3四半期末において197百万円の引当金を計上致しました。

2. 通期業績予想の修正について

(1) 平成26年12月期第通期 連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	18,400	2	△42	△124	円 銭 △25.37
今回修正予想(B)	15,500	△480	△501	△487	△99.64
増減額(B-A)	△2,900	△482	△543	△611	
増減率(%)	△15.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年12月期)	20,462	△86	△131	△165	△33.96

(2) 業績予想の修正の理由

上期の環境関連事業における大型顧客との取引条件見直しに伴う販売縮小や、主力事業のマーケティングサプライ事業における不振や、各事業毎の個別の進捗状況と、今期中のその実現可能性について保守的に勘案した結果、また、新規事業の一環で資金投下しておりました前渡金及び長期貸付金の回収可能性について、改めて精査し直し、保守的に判断した結果、回収不能に陥る可能性があることが判明したため第3四半期末において引当金を計上致しました。その結果、通期の業績見通しが前回公表予想を下回る見込みとなりました。

今後、主力のマーケティングサプライ事業におきましてはOEM商品（汎用品）のブラッシュアップ、商品ラインナップ拡大を含め、本来持つ当社の商品開発力を高め、競争優位性の高い商品の市場でのシェア拡大に向けビジネスモデルの再構築を行い、ファニチャー事業におきましては製造小売業態や大型小売業態へのOEM供給を中心とする事業展開に軸足を移し、確実に収益を見込む事が可能な事業への「選択と集中」により、収益改善を図ってまいります。また、全社的に聖域無く固定費削減と変動費化を中心としたリストラクチャリングにより、早期の安定した黒字化を目指します。

※個別業績予想数値につきましては投資情報としての重要性が大きいと判断されるため記載を省略しております。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上